

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 厚岸臨海実験所 公開臨海実習実施要領 (学部・大学院生対象コース)

1. 実習タイトル

国際公開臨海実習Ⅲ
国際公開臨海実習Ⅳ

2. 授業科目

生物学特別実習Ⅰ 1単位

3. 実施場所

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所
〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地
TEL 0153-52-2056 / FAX 0153-52-2042

4. 実施期間

国際公開臨海実習Ⅲ

令和5年8月1日(火)～8月5日(土) 5日間
{8月1日(火)夕方集合、8月5日(土)午前解散}

国際公開臨海実習Ⅳ

令和5年8月6日(日)～8月10日(木) 5日間
{8月6日(日)夕方集合、8月10日(木)午前解散}

5. 対象学生

国立大学および公私立大学の生物系学部・大学院に在籍する学部学生(3・4年生)・大学院生を対象とする。定員に空きがある場合、他学部・他学年の学部生、大学院生も受講可能である。ただし、大学院生の単位の認定はできないので留意すること。

6. 実習内容(どちらの実習も英語で行うが、日本語によるサポート有り)

国際公開臨海実習Ⅲ(指導教員:仲岡雅裕、伊佐田智規、鈴木一平、堀之内祐介、Siti Maryam Yaakub)

基礎的な海洋生物学・生態学を既習した学生を対象に、先進的な内容を課題とした発展的かつ分野統合的な実習を国内外の学生が共同で行う。寒流生態系に特徴的な海藻類・海草類や海洋底生動物(ベントス)群集を対象として、群集生態学、生態系生態学、景観生態学など異なる分野にわたる課題に取り組むことにより、海洋生物学・生態学の最先端の知識を身につけると共に、問題解決型の研究課題への取り組み方を習得する。具体的には、北海道東部沿岸域の厚岸湖・厚岸湾における多様な生物多様性、生態系構造の観測方法、成果をオンライン教材の視聴により学習し、それを踏まえて海洋生態系の諸問題の解析方法および解決方法に関する議論を参加者同士で行い、海洋生態系の成り立ちや人間活動の影響に関する課題について理解を深める。

1. 沿岸海洋生物群集の垂直分布とその形成要因の解析
2. アマモ場の生物群集と食物網の解析
3. グループでの課題研究・成果報告

国際公開臨海実習Ⅳ(指導教員:仲岡雅裕、伊佐田智規、鈴木一平、Aileen Tan Shau Hwai)

基礎的な海洋生物学・生態学を既習した学生を対象に、先進的な内容を課題とした発展的かつ分野統合的な実習を国内外の学生が共同で行う。寒流生態系に特徴的な動植物プランクトン、ベントス群集、アマモ場・コンブ藻場生物群集を対象として、生理生態学、群集生態学、保全生態学など異なる分野にわたる課題に取り組むことにより、海洋生物学・生態学の最先端の知識を身につけると共に、問題解決型の研究課題への取り組み方を習得する。具体的には、北海道東部沿岸域の厚岸湾において、フィールド調査や船を使った海洋観測と室内実験から、海洋生態系における生物間相互作用や、環境変化に伴う生物多様性についての理解を深めることを目的とする。

1. 沿岸生物群集・生態系の長期変動の解析

2. 海洋環境と植物プランクトンの光合成特性の調査・解析
3. グループでの課題研究・成果報告

7. 定員

国際公開臨海実習Ⅲ：8名、国際公開臨海実習Ⅳ：8名

8. 選考

定員を超えた場合、書類により選考する。両コースとも原則申し込み先着順で書類により受講者を選考決定する。大学ごとの応募数上限は設けていない。

9. 提出書類その他（所属大学の教務を通じて申し込んでください）

- (1) 特別聴講学生願書（別紙様式1、希望コースを明記すること）
大学院生が申し込む場合は「受講許可願」（別紙様式2）を提出すること（単位認定なし）。
- (2) 顔写真1枚を（1）の様式の所定の欄に貼付すること。
- (3) 参加希望コース及び実習の受講を希望する理由（200字以内、任意様式）
- (4) 学生教育研究災害傷害保険の加入を証明するもの（領収書・証明書等）
※書類の提出が遅れる、または紛失等で再確認が必要な場合は申し出ること。

10. 申込期限

国際公開臨海実習Ⅲ・・・・・・令和5年6月21日（水）

国際公開臨海実習Ⅳ・・・・・・令和5年6月28日（水）

なお、申込期限後も定員に空きがある場合は事務手続きが可能な範囲で申込を受け付ける。

11. 申込先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課教務担当

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

※郵送の際、封筒の表に「公開臨海実習参加申込書類在中」と朱書きすること。

12. 参加費用

国際公開臨海実習Ⅲ：宿泊費と食費（3食）その他雑費を含めて合計約9,000円。

国際公開臨海実習Ⅳ：宿泊費と食費（3食）その他雑費を含めて合計約9,000円。

国立大学の学生は、所定の書式による申請により授業料は不徴収とする。

公私立大学の学生は、学部間による履修に関する協定を締結することにより、授業料は不徴収となる。締結状況については事前に所属学部の教務事務担当へ確認すること（協定の締結は、北海道大学理学部と履修希望者が所属する学部担当者間の打ち合わせにより進めます）。

※特別聴講学生等として受け入れる際の授業料等について、「北海道大学における特別聴講学生及び特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程」（平成16年海大達第267号）に規定する要件を満たした場合は、これを徴収しない。

13. その他

複数コースを履修したのも、単位は1単位のみとする。

詳細な日程、実習内容、交通案内、日常生活上の注意などに関しては、受講決定者に教員より別に通知する。

新型コロナウイルス感染症の状況によって実施形式を変更する場合がある。

（註）この件に関する問い合わせは、下記へ願います。

参加の手続きについては

北海道大学理学・生命科学事務部事務課教務担当

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

TEL 011-706-2656 E-mail rkyo1@sci.hokudai.ac.jp

実習内容については

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所

〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地

TEL 0153-52-2056（仲岡まで）

FAX 0153-52-2042

E-mail nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp（仲岡）

ホームページ <http://www.fsc.hokudai.ac.jp/KANRYU/>

<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/>

（今年の実習情報や追加募集の有無等をホームページに掲載しています。）